



かたらしで

アーチ通信 第8号

平成30年11月発行

「かたらしで」は三島の方言で
「なかまにいて」 という意味です。



三島市障がいと暮らしを支える協議会は、市内関係団体・当事者・事業者の顔の見える
“つながり” 作りを大切に、愛称：アーチのとおり、架け橋になることが目標です！！

いいものみつけた！！（皆さんのこえ）

★ 外出先のトイレ情報 ★

三島市手をつなぐ育成会の会員さんに、お子さんと一緒に出かけたときのトイレ情報を教えてもらいました。

◆イトーヨーカドーのトイレ

子どもが自分からトイレに行きます。行きやすいようです。

1 階東側の多目的トイレには、フィッティングボード（大人用の簡易ベッド）や、オストメイト対応トイレもあります。広いので車椅子でも入りやすいです。



◆ウエルシア三好町店

オストメイトトイレがあります。

◆清水町・サントムーン柿田川

本館 1 階、セントラルコート右側にあるトイレが、オストメイト対応多機能トイレで、介護ベッドがあります。

◆函南町・スーパーあおき

◆裾野市・市民体育館

きれいで入りやすいです。

ウエルシアのトイレは、どの店舗も入りやすいようです。ただ、トイレがひとつしかなく、多目的トイレに一般のお客さんが入ることもあるそうです。



お子さん（成人の方も含む）と一緒に外出したときは、ご家族の方も一緒に多目的トイレに入ると答えられた方が多かったです。



三島市役所中央町別館 1 階にある、多目的トイレにある大人用のベッド

「米山レスリング道場ジュニアレスリング教室」を紹介します！



レスリングは、子どもの心と体を強くするスポーツです。指導者の米山巖先生は高等学校のレスリング部の指導をなさり、世界選手権王者も育成したベテラン指導者として「ファイティングエンジェルス」を主宰しています。

節子さんは、沼津特別支援学校、東部特別支援学校、聴覚特別支援学校を歴任されました。



一般向け教室に通っていた自閉児、外傷症の保護者の方から、練習のペースが遅れ気味になってきたと相談された時、「せっかく芽生えた子どものやる気を積んではならない。」と2012 年、障害児のクラスを開きました。

三島市、裾野市、長泉町の子どもたちが参加しています。

内容は、レスリングの基本運動からはじめ、大会出場も目標にしています。

子どもたちがいきいき練習する姿と、基本をきちんと教えてくださり、一人一人の子どもたちに合わせた支援、できたことをほめてくださる笑顔と見ている保護者の笑顔が印象的でした。

レスリングは、全身を使う運動です。親御さんが困っていたお子さんが練習の中でルールが守れるようになったという話を聞きます。「動きたい」「動ける」があることは強みであり、レスリングに打ち込むことによって、自己肯定感を高くすることができます。

【所在地】長泉町

【練習日】土曜日 月2回（不定期）

【時間】10:00～11:30

【指導者】米山 巖 米山 節子

【対象】小学生

【参加費】1回 100円

【連絡先】電話・FAX 055-986-9807



見学、体験、入会
お気軽に
お問合せください

サポーター紹介！



(プロフィール)

法人：社会福祉法人恩賜財団
済生会支部静岡県済生会
事業所：伊豆医療福祉センター
サポートセンターみらいず
職種：相談支援専門員
(医療的ケア児コーディネーター研修終了)
名前：杉本智司

地元のソフトバレーボール
チームに所属しています



こどもと一緒にケーキを作
りました

田舎に住んでいるので冬は
雪が積もります。左側に写っ
ているのは自作のピザ釜



★好きなこと:野菜作り・料理・ソフトバレー ★取得資格:社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・調理師
★その他:妻・子供3人・祖父母・犬一匹の大家族です。



運営会議のほうこく！

日時：平成 30 年 10 月 25 日（木）15：00～17：00 場所：三島市役所西館 2 階会議室

プロジェクトチームの進捗状況について

- ①相談&サビ管の連携プロジェクト ⇒ 新メンバーにより、第 2 期の初回打合せを行いました。
- ②アーチ通信プロジェクト ⇒ 発足当初の課題“三島再発見”に立ち戻り、情報発信・収集・整理・活用を検討し始めました。
- ③人材育成プロジェクト ⇒ 講師リストについて素案を作成しました。整理し、年内中に運用を開始します。

三島市における地域生活支援拠点事業について

- ①10/12(金)基幹相談支援センター主催“よりよい支援のためのスキルアップ研修”を受講した感想をまとめました。
 - ・思い描いていた事業に比べ、シンプルな事業体制であると感じた。
 - ・共生社会・他分野(介護・医療等)との連携が必須とあらためて感じた。医療は広域での対応が望ましい。
 - ・「予算・規模共、大きな高齢分野に、障がい者分野は飲み込まれる」と言われた講師の言葉が印象に残っている。
 - ・具体的な説明でわかりやすかった。
 - ・三島市は基本機能が備わっていると思われる。協議会の取組んでいる方向性は間違っていないと感じた。
 - ・三島市だけでできることは限りがある。圏域でやってもらいたいこと、県でバックアップしてもらいたいことは整理して依頼していきたい。
- ②圏域自立支援協議会の取組み ⇒ 圏域スーパーバイザー 若林氏・牛島氏のお二人にご参加いただき、意見交換をしました。
- ③県知的障害者福祉協による地域協議会担当者を集めた会議に山田会長が出席し、協議会機能の形骸化や市町規模に伴う課題などを話し合われました。





おしえて Q & A

「人材育成プロジェクト」って何してるの？



本プロジェクトは、他のプロジェクトと同じように、地域課題やニーズを整理していく中で、見えてきた課題の一つである「人材育成」への取り組みとして立ち上がりました。



テーマ：アーチな人材の育成ってなに？

協議会の愛称でもある「アーチ」、つまり「つながる」という目的に沿って、「アーチな（つながる）人材の育成」というテーマを掲げ…

三島市にある人や事業所などの資源等、三島市の「力」を生かして「講師研修」や「職員交換研修」に「事業所見学」等々、お互いにスキルアップが図れる仕組みやリスト作りを検討しています。

リストってなに？

三島にあるスキルのある人や事業所をお互いに活用しよう！！
でも、そんな人どこにいるの？そんな事業所どこにあるの？
ということで…みんなで使えるリストを作ることにしました。それは…「研修をしたい」
に答えられるリスト

事業所見学やスタッフ交換研修等に答えられるリスト「人」「事業所」がつながるリスト



おしえてQ & A 今後の予定

第9号

★日常生活自立支援事業

ってなに？

第10号

★成年後見制度ってなに？

第11号

★市民後見ってなに？

*予定は変更されることもあります。ご承知願います。

これからも、多くのプロジェクトが構成され、メンバーとしてスタッフの派遣をご依頼させていただきます。
ご協力いただけるよう、各事業者の皆様をお願いします！！

*より詳しい情報はホームページに掲載しましたのでご覧ください。

三島市障がいとくらしを支える協議会ホームページ

http://kir250520.kir.jp/netcommns/htdocs/?page_id=35

事務局連絡先：(福)見晴学園 相談支援事業所ふあいん

055-976-8386

sole-fine@shirt.ocn.ne.jp